

平成19年5月7日

各 位

株式会社 りそな銀行
株式会社 埼玉りそな銀行
株式会社 近畿大阪銀行

生体認証対応ATMの相互利用拡大について

りそなグループのりそな銀行（社長 野村正朗）埼玉りそな銀行（社長 川田憲治）および近畿大阪銀行（社長 桔梗芳人）は、平成19年5月6日より、みずほ銀行、三井住友銀行と生体認証対応ATMの相互利用を開始しました。

また、平成19年5月7日からは、日本郵政公社との相互利用も開始しました。

1. りそなグループ3行間およびみずほ銀行、三井住友銀行との生体認証対応ATM相互利用の開始

平成19年5月6日（日）より、りそな銀行・埼玉りそな銀行と近畿大阪銀行との間、また、りそなグループ3行と同じ指静脈認証を採用しているみずほ銀行、三井住友銀行との間で生体認証対応ATMの相互利用を開始しました。なお、当グループ3行と同じ指静脈認証を採用している他の金融機関とも、随時相互利用を拡大していく予定です。

2. 日本郵政公社との生体認証対応ATM相互利用の開始

平成19年5月7日（月）より、りそなグループ3行と同じ指静脈認証を採用する日本郵政公社と生体認証対応ATMの相互利用を開始しました。

なお、近畿大阪銀行は、日本郵政公社と同日よりATMでの入金業務提携も開始しました。

これにより、生体認証取引をご利用いただけるATM台数が飛躍的に拡大しますので、さらに「便利で安全に」キャッシュカードをご利用いただけるようになりました。

今後とも、りそなグループでは、キャッシュカードのセキュリティ強化を図るとともに、お客さまへの更なるサービス向上に努めてまいります。

以上

【ご参考1】

<りそなグループの生体認証対応ATMの設置状況について>

平成19年3月末現在

	りそな銀行	埼玉りそな銀行	近畿大阪銀行	合計
生体認証対応ATM拠点数	314ヶ所	129ヶ所	163ヶ所	606ヶ所
生体認証対応ATM台数	397台	389台	249台	1,035台

【ご参考2】

<りそなグループにおける偽造・盗難カード被害への主な取組み>

取組み事項	りそな銀行	埼玉りそな銀行	近畿大阪銀行
ATMへの覗き見防止ツールの導入	平成17年4月 (セキュリティスクリーン設置)	平成16年9月 (フィルター貼り付け)	平成17年3月 (セキュリティスクリーン設置)
ATMへの後方確認ミラーの設置	平成16年3月	平成16年9月	平成16年12月
被害届出提出ルールの制定等	平成16年6月	平成16年6月	平成16年6月
注意喚起ポスターやチラシ掲示	平成16年7月	平成15年11月 平成16年11月	平成16年4月
注意喚起のHP掲載による啓発	平成16年10月	平成17年2月	平成16年3月
偽造カード被害の補償開始	平成17年3月	平成17年3月	平成17年3月
ATMご利用限度額の一律引下げ (200万円)	平成17年3月	平成17年3月	平成17年3月
カードロックサービスの導入 (モバイル端末)	平成17年10月	平成17年10月	平成18年3月
盗難カード被害の補償開始 (17年11月14日以降の被害)	平成17年11月	平成17年11月	平成17年11月
盗難カード被害の補償開始 (17年11月13日以前の被害)	平成18年2月	平成18年2月	平成18年2月
カードロックサービスの拡大 (テレフォンバンキング)	平成18年3月	平成18年3月	導入検討中
ATMご利用限度額の 個別設定サービスの導入	平成18年3月	平成18年3月	平成17年8月
クイックロビーへの 盗撮機器監視システムの導入	平成18年5月より 順次導入中	平成18年5月より 順次導入中	導入検討中
情報サイト「安全にお取引 いただくために」の開設	平成18年9月26日	平成18年9月26日	平成18年9月26日
生体認証機能付IC キャッシュカードの導入	平成18年10月10日	平成18年10月10日	平成18年10月10日
生体認証対応ATMの 相互利用拡大(本件)	平成19年5月 6日・7日	平成19年5月 6日・7日	平成19年5月 6日・7日